

東京海洋大学 海洋生命科学部・海洋資源環境学部 科目等履修生出願要項（2025年度4月入学）

<p>1 出願期間 2025年1月20日（月）～1月24日（金） ＊出願書類は募集要項配布ページからダウンロードしてください。大学窓口では配布しません。 （受付場所）東京海洋大学 学務部教務課教務係 ＊郵送での出願はできません。 （受付時間）9：30～17：00</p>														
<p>2 出願資格等 下記(1)～(3)のいずれかの要件を満たし、かつ(4)を満たすこと。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2025年3月31日までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者 ＊外国人留学生は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する2024年度（令和6年度）日本留学試験を受験した者 (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 (4) 前学期（4月～9月）に1単位以上履修可能な者又は通年（前学期：4月～9月、後学期：10月～3月）に1単位以上履修可能な者</p>														
<p>3 検定料 9,800円</p>														
<p>4 入学料 28,200円</p>														
<p>5 授業料 1単位につき14,800円</p>														
<p>6 合格発表 2025年3月7日（金）に合格者へ電話又はメールにて連絡します。 なお、合格者には、合格通知書及び入学手続に関する書類一式を送付します。 不合格者への通知は行いません。電話等による可否の問合せには応じられません。</p>														
<p>7 入学手続日 2025年3月14日（金） ＊この日までに手続きを行わなかった者は、入学を辞退したものとみなします。</p>														
<p>8 入学時期 2025年4月1日</p>														
<p>9 選抜方法 出願書類の総合審査による。＊ただし、外国人留学生については面接を行います。</p>														
<p>10 出願書類等</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 入学願書（本学所定のもの）</td> <td>1通</td> </tr> <tr> <td>(2) 写真 （出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cmのものを入学願書の写真欄に貼付してください。）</td> <td>1枚</td> </tr> <tr> <td>(3) 履歴書（本学所定のもの）</td> <td>1通</td> </tr> <tr> <td>(4) 最終学校の卒業又は修了証明書 （卒業又は修了見込証明書若しくは高等学校卒業程度認定試験合格証明書） ＊卒業又は修了見込みで出願した場合は、卒業又は修了後、速やかに卒業又は修了証明書を提出してください。</td> <td>1通</td> </tr> <tr> <td>(5) 最終学校の成績証明書 （高等学校卒業程度認定試験合格者は、科目合格成績証明書）</td> <td>1通</td> </tr> <tr> <td>(6) 住民票（外国人留学生のみ）</td> <td>1通</td> </tr> <tr> <td>(7) 検定料納付証明書（検定料を振り込んだ金融機関が発行したもの。検定料納付用紙のC票）</td> <td></td> </tr> </table>	(1) 入学願書（本学所定のもの）	1通	(2) 写真 （出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cmのものを入学願書の写真欄に貼付してください。）	1枚	(3) 履歴書（本学所定のもの）	1通	(4) 最終学校の卒業又は修了証明書 （卒業又は修了見込証明書若しくは高等学校卒業程度認定試験合格証明書） ＊卒業又は修了見込みで出願した場合は、卒業又は修了後、速やかに卒業又は修了証明書を提出してください。	1通	(5) 最終学校の成績証明書 （高等学校卒業程度認定試験合格者は、科目合格成績証明書）	1通	(6) 住民票（外国人留学生のみ）	1通	(7) 検定料納付証明書（検定料を振り込んだ金融機関が発行したもの。検定料納付用紙のC票）	
(1) 入学願書（本学所定のもの）	1通													
(2) 写真 （出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cmのものを入学願書の写真欄に貼付してください。）	1枚													
(3) 履歴書（本学所定のもの）	1通													
(4) 最終学校の卒業又は修了証明書 （卒業又は修了見込証明書若しくは高等学校卒業程度認定試験合格証明書） ＊卒業又は修了見込みで出願した場合は、卒業又は修了後、速やかに卒業又は修了証明書を提出してください。	1通													
(5) 最終学校の成績証明書 （高等学校卒業程度認定試験合格者は、科目合格成績証明書）	1通													
(6) 住民票（外国人留学生のみ）	1通													
(7) 検定料納付証明書（検定料を振り込んだ金融機関が発行したもの。検定料納付用紙のC票）														

- (8) 宛名票（本学所定のもの。合格時の連絡先（日本国内に限る）を記入してください。）
- (9) 日本留学試験の受験票及び成績通知書（外国人留学生のみ）
（注1）入学願書及び出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
（注2）いったん提出された出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
（注3）証明書等（成績及び卒業証明書等）は、複写ではなく必ず原本を提出してください。
（注4）出願書類が日本語以外で記入されている場合は、必ず日本語の訳文を添付してください。
（注5）入学時及び在学中に入学料・授業料の改定を行った場合は、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。
（注6）払込済の検定料は、①検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合、②誤って検定料を二重に払い込んだ場合に限り、返還に要する手数料を控除した額を返還します。
（注7）科目等履修生には、学校学生生徒旅客運賃割引証（学割）及び通学定期券購入証明書は適用対象外となり、発行されません。
（注8）提出された入学願書及び出願書類等に記載されている個人情報、合格者選抜その他必要な目的以外には使用しません。

11 履修期間

2025年4月1日～2026年3月31日

* 翌年度も履修を希望する場合は、履修期間更新の許可を得なければなりません。

12 履修科目、履修登録手続及び授業料納付

- (1) 「海洋生命科学部」又は「海洋資源環境学部」の科目等履修生として入学した者は、原則としてどちらの学部の開講科目も履修することが可能です。
- (2) 出願前に、出願要項別紙「履修公開科目一覧」を必ず確認してください。なお、いずれの学部も、実験・実習・演習及び資格関連科目等について一部科目を履修制限しているため、履修できない場合があります。
- (3) 集中授業の開講時期は別途掲示等でお知らせします。また、授業日程等は予告なく変更される場合があります。
- (4) 履修届は、4月及び10月の所定の期日までに授業料を納付のうえ、前学期科目及び通年科目については4月初回授業、後学期科目については10月初回授業までに教務課へ提出してください。
- (5) 原則として入学願書に記載された科目以外の履修はできません。
- (6) 原則対面で授業を実施しているため、遠隔での実施等の対応を行うことはできません。

13 外国人留学生で科目等履修生のみで在留資格（留学）を取得しようとする場合の注意点

- (1) 在留資格を取得する場合、各学期で1週間に10時間(600分)以上履修する必要があります。全てを講義科目とする場合は、14単位以上履修する必要があります。
- (2) 本学科目で在留資格手続を行う場合は、ご自身で在留資格の手続きを行ってください。また、本学科目のみで在留資格を取得しようとする場合は、必ず出願前に申し出てください。
- (3) 在籍管理の一環として、入学後は、定期的に履修状況を確認しますのでご了承ください。

14 問合せ先

〒108-8477 東京都港区港南4丁目5番7号
東京海洋大学 学務部 教務課 教務係
電話 03-5463-0394（月曜日～金曜日の9：30～17：00）
メール k-kyomu1@o.kaiyodai.ac.jp

科目等履修生に対する履修公開科目一覧

科目区分、学科等	授業科目名	備考	科目区分、学科等	授業科目名	備考
共通導入科目	データサイエンス入門A データサイエンス入門B			有機化学【再掲】 生物化学Ⅰ【再掲】 分子生物学【再掲】 微生物学【再掲】 公衆衛生学【再掲】 生産物理学 食品化学 食品工学 生物化学Ⅱ【再掲】 物理化学 応用統計学【再掲】 食品微生物学 衛生微生物学 食品分析学 食品衛生学 食品加工学 食品貯蔵学 食品冷凍学 資源利用化学 食品機能学 食品包装論 食品流通安全管理論 食品殺菌工学 食品生産システム論 食品物性学	
外国人留学生の日本語科目、日本事情科目、日本海洋水産事情科目	総合日本語Ⅰ 総合日本語Ⅱ 総合日本語Ⅲ 総合日本語Ⅳ 応用日本語Ⅰ 応用日本語Ⅱ 論文のための日本語Ⅰ 論文のための日本語Ⅱ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ 日本水産事情 日本海洋事情	※2	海洋生命科学部 食品生産科学科	職業指導【再掲】	※3
専門導入科目	基礎微積分Ⅰ 基礎微積分Ⅱ 数理解析 線形代数 数理科学【海洋資源環境学部のみ】 物理数学【海洋資源環境学部のみ】 水産海洋概論Ⅰ【海洋資源環境学部においては専門科目】 水産海洋概論Ⅱ【海洋資源環境学部においては専門科目】 水産海洋概論Ⅲ【海洋資源環境学部においては専門科目】 統計学 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 化学Ⅰ 化学Ⅱ 生物学Ⅰ 生物学Ⅱ 地学Ⅰ 地学Ⅱ 地学実験 陸水学【海洋生命科学部のみ】 技術史			経営学 漁業管理論 水産経済学 資源利用関係論 ミクロ経済理論 水圏環境教育学 環境と教育 海洋性レクリエーション論 多文化社会学 科学技術論 生命・環境倫理学 国際海洋法 海洋文化学 職業指導【再掲】 漁業経営論 食品マーケティング論 海事法規 水産経済史 資源経済論 沿岸域利用管理論 食料経済論 水産物流通論 海洋管理制度論 水産政策論 日本経済論 海洋環境政策論 海と健康 応用人体生理学 動物発生学【再掲】 魚群行動学【再掲】 集団生物学【再掲】 水族生理学【再掲】 微生物学【再掲】 動物組織学【再掲】 漁具漁法学【再掲】 水族栄養学【再掲】 海洋文化表象論 環境文学Ⅰ 環境文学Ⅱ 海洋文学Ⅰ 海洋文学Ⅱ 政治哲学	
海洋生命科学部 海洋生物資源学科	生物化学Ⅰ 有機化学 分子生物学 微生物学 公衆衛生学 応用統計学 海洋動物学 海洋植物学 生物化学Ⅱ 水族生理学 動物発生学 動物組織学 遺伝子工学 動物生態学 集団生物学 漁具漁法学 職業指導 応用藻類学 水族遺伝育種学 水族病理学 水族養殖学 水族栄養学 水族薬理学 応用微生物学 魚群行動学 生物資源モデリング 鯨類資源論 漁業解析学 生産システム学 応用保全生物学 生物資源解析学	※3			

科目区分、学科等	授業科目名	備考	科目区分、学科等	授業科目名	備考	
海洋生命科学部 海洋政策文化学科	生命・環境倫理学の諸問題			化学概論Ⅲ【再掲】		
	科学技術論の諸問題			化学概論Ⅳ【再掲】		
	国際関係論			地球科学概論Ⅱ【再掲】		
海洋資源環境学部 海洋環境科学科	Natural Sciences		海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科	基礎工学Ⅲ		
	物理学概論Ⅰ			電気電子工学		
	物理学概論Ⅱ			職業指導【再掲】	※3	
	化学概論Ⅰ			海底科学Ⅰ【再掲】		
	化学概論Ⅱ			海底科学Ⅱ【再掲】		
	生物学概論			海域連携利用論【再掲】		
	地球科学概論Ⅰ			数値モデリング【再掲】		
	化学概論Ⅲ			海洋自然エネルギー学		
	化学概論Ⅳ			海洋エネルギー工学Ⅰ		
	地球科学概論Ⅱ			海洋エネルギー工学Ⅱ		
	基礎海洋学			Marine Resource and Energy		
	応用数学			水産海洋概論Ⅰ【再掲】		
	職業指導【再掲】	※3		水産海洋概論Ⅱ【再掲】		
	物理海洋学Ⅰ			水産海洋概論Ⅲ【再掲】		
	海底科学Ⅰ			海洋資源地球化学		
	海域連携利用論			海洋地盤工学		
	数値モデリング			海洋資源工学		
	水産海洋概論Ⅰ【再掲】			海洋計測学		
	水産海洋概論Ⅱ【再掲】			海上安全工学		
	水産海洋概論Ⅲ【再掲】			海洋音響学		
	物理海洋学Ⅱ			沿岸工学		
	環境情報解析学Ⅰ			応用情報学		
	環境情報解析学Ⅱ			教職科目	教職概論	
	陸水・沿岸海洋学				教育原理	
	化学海洋学				教育思想史	
	環境動態学Ⅰ				教育心理学	
	環境動態学Ⅱ				特別支援教育概論	
	海底科学Ⅱ				教育行政論	
	General Oceanography				教育課程論	
	海洋生物学Ⅰ				特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	
	海洋生物学Ⅱ				教育方法学（ICT活用含む）	
	海洋生物学Ⅲ				生徒指導（進路指導）	
	海洋生物学Ⅳ			教育相談		
環境生命化学Ⅰ		水産科教育法Ⅰ				
環境生命化学Ⅱ		水産科教育法Ⅱ				
海洋生態学Ⅰ		水産科教育法Ⅲ				
海洋生態学Ⅱ		学芸員科目	博物館学Ⅰ			
Aquatic Biology			博物館学Ⅱ			
物理学概論Ⅰ【再掲】			博物館学Ⅲ			
物理学概論Ⅱ【再掲】			博物館学Ⅳ			
基礎工学Ⅰ			博物館学Ⅴ			
基礎工学Ⅱ			博物館学Ⅵ			
General Engineering			博物館教育論Ⅰ			
Natural Sciences【再掲】			博物館教育論Ⅱ			
化学概論Ⅰ【再掲】			生涯学習指導論			
化学概論Ⅱ【再掲】			生涯学習社会論			
生物学概論【再掲】		教育方法学（ICT活用含む）【再掲】				
地球科学概論Ⅰ【再掲】						

注意事項

- 事前に履修予定科目相談期間は設けませんので御留意願います。
- 履修生の履修状況その他の事情により、一覧の内容を変更することがあります。
- 講義室・設備・収容人数等の関係で制限のある科目のほか、実験・演習等の科目は、原則、履修できません（ただし、教員免許の資格取得を目指す場合には、特別に認める場合があります）。
- Ⅰ、Ⅱと連続して開講される科目でも、開講学期が前後する場合があります。また履修上の注意点がある科目もありますので、必ず、事前にシラバスで科目の詳細を御確認ください。
- ※1 「個別対応」の授業科目に関する留意事項
 - ・受入条件のある授業科目です。出願受付期間内に別途御相談ください。
- ※2 外国人留学生の日本語科目、日本事情科目、日本海洋水産事情科目に関する留意事項
 - ・出願受付期間内に別途御相談ください。
- ※3 教職科目に関する留意事項
 - ・理科（中学）の教員免許取得を目的とする科目等履修生は、本学海洋資源環境学部卒業生に限りです。
 - ・理科（中学）の免許取得を希望する場合、教科に関する科目は必ず海洋資源環境学部の授業科目を履修すること。
 - ・水産（高校）または理科（高校）の教員免許取得を目的とする科目等履修生につきましては、出願受付期間内に別途御相談ください。
 - ・教職科目及び「職業指導」は、水産（高校）または理科（高校または中学）の教員免許取得を希望する者のみ履修可とします。
 - ・教育実習（事前及び事後の指導含む）は、本学の卒業生に限り履修できます。
- ※4 学芸員科目に関する留意事項
 - ・講義科目は、本学の卒業生に限り履修できます。
 - ・博物館実習Ⅰ・Ⅱは、本学の卒業生も含め履修できません。
- ※5 「基礎微積分Ⅰ・Ⅱ」に関する留意事項
 - ・基礎微積分Ⅰ・Ⅱは、連動する科目のため、両方の科目を連続して履修する必要があります。